

浜川目地区防潮堤の復旧は

6月から築造工事を行う



佐藤克典議員
(政和会)

問 震災から7年目を迎えるようになっているが、浜川目地区の排水処理施設付近から西側数百メートルの防潮堤が被災したままの状態、いまだ復旧の兆しが無い。地域住民はこのまま置き去りにされるのではないかと懸念している。今後、復旧の計画はあるのか。また、町内にこのような被災箇所が他にもあるのか併せて伺う。

答 28年第3回定例会において遊休農地解消のため田名部地区の小規模ほ場整備の実施について質問したが、その後の町の動きはどうなっているのか。また、野菜について新品種の導入や収穫時期を調整するなどして所得向上につなげたいとのことだが、どの品種の導入計画か。収穫時期の調整の具体は。

町長 現在、農地の集積についてのアンケートと併せ、土地所有者からほ場整備事業についての意向を確認し総合的に検討

田名部地区
ほ場整備のその後の動きは

旧工事は全て発注済みであり、作業工程上、部分的に解体していない防潮堤はあるが、倒壊したままの状態に残る防潮堤はない。

意向を確認し総合的に検討

問 三陸沿岸道路山田北インターの「フルインター化」は町民、特に豊間根地区住民や豊間根地区で働いている宮古市民にとって悲願である。実現のため宮古市と連携し、国に働きかけるとのことだが、どのような形

町長 山田町三陸沿岸道路推進室と宮古市復興道路推進室が連携を図りながら、岩手県三陸沿岸道路整備促進期成同盟会などとともに実現に向け要望していく。

山田北インター フルインター化への要望は

関係団体と連携し要望

- ◆ 移住定住支援は
- ◆ 町営住宅の指定管理者の職務は
- ◆ コミュニティ・スクールの内容は

その他の質問



ほ場整備事業の実施で遊休農地解消を